

平成 30 年 5 月 19 日

関東ラグビーフットボール協会

会長 水谷 眞 様

関西ラグビーフットボール協会

会長 坂田 好弘 様

九州ラグビーフットボール協会

会長 森 重隆 様

(公財)日本ラグビーフットボール協会

会長 岡村



インテグリティ遵守のお願い (通達)

拝啓、平素は日本ラグビーの普及発展につきまして多大なるご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

ご承知の通り、日本大学アメリカンフットボール部の選手が行なった不適切なタックルにつき、多くの報道がなされております。

報道の中では、その暴力性、相手選手／相手チームへのレスペクトの欠如、対応すべき組織の説明責任への意識の希薄さ、初動の遅れなどが厳しく指摘されています。

当協会としては、ワールドラグビーが定めるラグビーの5つのコアバリューの一つでもあり、「JRFU 戦略計画 2016-2020」を支える行動指針のひとつとして挙げている「インテグリティ」が目指すものを改めて認識し、「暴力行為の排除」、「安全の追求」、「レスペクトの精神の徹底」、「問題発生時の迅速かつ適切な初動と説明責任の履行」を大切にしていきたいと考えます。

ラグビーの価値、スポーツの価値を高めることに、全力で取り組みましょう。

JRFU 戦略計画 2016-2020 行動指針

Be Open・・・人々をつなぎ、社会に役立とう。

Play Globally・・・世界視点で考え、実行しよう。

Keep Integrity・・・常に真摯であり、誠実でいよう。

貴協会におかれましても上記主旨ご理解の上、加盟都道府県協会に周知徹底いただけますようよろしくお願い申し上げます。

敬具